学校番号	1101

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「国語表現」　（大修館書店）						
副教材等	国語表現　基礎練習ノート　（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基礎的な力を身に付け、国語に関しての応用や発展に活用できるようにしましょう。
・話し合いや文章記述、発表などを取り入れた授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	表現を培う(1)言葉と出会う ［教材］・言葉と表記・整った文を書く・相手に応じた言葉遣い・わかりやすい文を書く・文のつなぎ方	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けることができる。 b[書]：相手の反応に応じて言葉を選んだりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫することができる。 c：相手にわかりやすく伝わるように工夫をしようとしている。	成果物点検	成果物点検	観察法 成果物点検
	表現を培う(2)伝え合う ［教材］・自己紹介ゲーム・言葉のストレッチ体操・絵や写真を見て書く・マイニュース記事を書く	a：自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の種類を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 b[書]：目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組合せなどを工夫して、伝えたいことを明確にすることができる。 c：自分の思いや考えを表現するために言葉の使い方等を工夫しようとしている。	成果物点検	成果物点検	観察法 成果物点検
	表現を培う(3)前 小論文入門(前半) ［教材］・小論文とは何か・反論を想定して書く・文章を読み取って書く	a：実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めることができている。 b[書]：読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫することができる。 c：文章の構成や展開の仕方を工夫しようとしている。	成果物点検	成果物点検	観察法 成果物点検
	表現を培う(4)前 自己PRと面接(前半) ［教材］・自分を見つめて・効果的な自己PR・将来の自分を考えよう・志望理由を書こう・自己推薦書や学修計画書を書く	a：実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めることができている。 b[書]：読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫することができる。 c：自分の思いや考えを表現するために言葉の使い方等を工夫しようとしている。	成果物点検	成果物点検	観察法 成果物点検
	表現を培う(4)後 自己PRと面接(後半) ［教材］・面接にチャレンジ・グループディスカッションをしよう	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けることができる。 b[話／聞]：自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫することができる。 c：自分の思いや考えを表現するために言葉の使い方等を工夫しようとしている。	成果物点検 音声言語の点検	成果物点検 音声言語の点検	観察法 成果物点検

	表現を培う(3)後 小論文入門(後半) ［教材］・統計資料を読み取って書く・発想を広げて書く・レポートを書く・論文を書くために	a:実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めることができている。 b[書]:読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫することができる。 c:文章の構成や展開の仕方を工夫しようとしている。	成果物点検	成果物点検	観察法 成果物点検
	表現を培う(5) メディアを駆使する ［教材］・通信文を書き分ける・電話を使いこなす・電子メールを活用しよう・ネット社会との付き合い方・ネットを活用した情報収集・メディアと情報	a:実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めることができている。 b[書]:目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組合せなどを工夫して、伝えたいことを明確にすることができる。 c:文章の種類や展開の仕方などについて理解を深めたり、情報の組合せなどを工夫したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。	成果物点検	成果物点検	観察法 成果物点検
	表現を培う(6) 会話・議論・発表 ［教材］・相手や場面に応じた会話・建設的な議論の進め方・スピーチをしよう・プレゼンテーションの工夫	a:話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けることができる。 b[話／聞]:目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 c:情報を整理して伝え合う内容を検討したり、伝え合う目的などに応じた表現を使い分けようとしている。	成果物点検 音声言語の点検	成果物点検 音声言語の点検	観察法 成果物点検

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　４５　）時間

・読むこと　…　（　５　）時間